

令和6年度 第2回 蜷塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月26日（金）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 蜷塚中学校 会議室
- 3 出席議員 久野 隆久、川上 玲子、田村 智代、袴田 智恵美、橋本 憲幸、佐々木 知成、山田 谷一、野村 賢一、矢野 貴恵、鳥居 大資
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 石田 博基（西部協働センター所長）
- 6 学校支援コーディネーター 橋本 かずよ
- 7 学 校 羽生 和斉（校長）、榊原 晋（教頭）、水野 佳史（CS担当）、小谷 留美（CSディレクター）
- 8 教育委員会 牧野 知子
- 9 傍 聴 者 1人
- 10 会議録作成者 CSディレクター 小谷 留美
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、久野委員から田村委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項 熟議

- (1) 特色ある学校づくりに向けた取組について
 - ・語りかけの報告と今後の「アトリエ蜷塚」の運営
- (2) 具体的な支援策の検討
 - ・トークフォークダンスの実施に向けて
- (3) 昨年度の取組からの活動策検討
 - ・「面接の受け方」講座

13 会議記録

司会の水野から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 特色ある学校づくりに向けた取組について

議長の指示により、教頭から、別紙に基づき語りかけの報告と「アトリエ蜷塚」の運営について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・第1回語りかけを実施。担任を持たない教職員が話しをした。2学期、3学期の計画をしている。アトリエ蜷塚は、3期に分けて作品制作・展示の計画。地域の方を紹介してもらい検討する。（榊原教頭）
- ・授業に関わりのないことを大事に取り扱っていて素晴らしい。校長先生の意向でやっていけばよい。焦点を絞り具体的な要請をもらえれば人探しの手伝いができる。夙職人に協力をしてもらえないのか。今後、祭りなど地元の活動につながる。

(久野委員)

・他の中学校では、地域の凧揚げ会が応援して凧作りと凧揚げをしている。凧を借りて陳列することは可能だと思う。後継者の問題があり、場を提供してもらい中学生の保護者が主体的になれたらよい。(佐々木委員)

・作家側は、週末に見てもらえるとチャンスだが、土日は閉まっているので対象を生徒と保護者に絞ってもよい。空き教室の有効活用なので、作品の陳列だけでも良いのではないか。(鳥居委員)

・アトリエ蛭塚に期待している。第1期は何か決まっているのか。詳しく説明してくれると協力できる。蝶の標本の依頼確認をしますか。自分たちの作品を展示できる場所があるのか期待している方たちがいる。(袴田委員)

・展示するだけでなく体験まで繋げられたら興味もてる。例えば、スタンドグラスや調理師学校生徒のケーキ製作。(川上委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 具体的な支援策の検討について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきトークフォークダンスの実施に向けての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・3年生の公立試験後に実施できたらよいと考えている。3年生を対象にした理由は、中学校3年間を経験した成長の様子を地域の人に見てもらいたい。いろいろなどころの協力が得られないと実現ができないため何年か計画でと考えている。(羽生校長)

・学校支援コーディネーターの声掛けで募集するのは難しく感じる。生徒と大人が話しをすることは緊張感があり楽しいことなので実現できたらよい。今年度から実施できたらよいと思う。(矢野委員)

・今年度から実施したらよいと思う。生徒数を募集するのは大変だと思うが、地域に呼びかけたら多すぎて困ることがあるかもしれない。地域の人自分たちの応援団だと実感できるよい試み。(袴田委員)

・言語化能力が育ち非常に良い試み。大人になってからも役に立つ。

(石田オブザーバー)

・大人にとって子供と話ができて刺激になり非常によい。子供と共に成長するイメージで参加できるとよいと思う。中学校区には11の自治会があり役員にお願いするのは難しくはない。日程を決めてもらいたい。(山田委員)

・地域の人に依頼すると年配者が多くなるので、高校生や大学生にも声掛けしたら多様性になる。話の内容ではなく、時間と空間がとても大切。価値のあることだと思う。

(橋本委員)

・話すか聞くかの、どちらかしかできないことがもどかしい。話題を膨らませてやりくりできるとよい。4月に1年生と3年生で実施できれば、先輩が怖いと思わなくて済むのではないのか。(野村委員)

・地域には、いろんな経験値をもった人がたくさんいるので、知る機会があるとよいと思っていた。協力的だと思うし、参加者の輪が広がる。まず、やってみることがよいと思う。(佐々木委員)

・高齢者や保護者にとって、身内でない人と話すと、楽しいし知る機会になり良い。一方通行なので、コミュニケーションをとることがクリアできる形にするとよい。(川上委員)

・108名を集めるのは大変だと思う。地域内なのか、地域外でもよいのか。どこにどれくらい声掛けするのか。学校運営協議会が主体でやる場合にどんな形をとるのか教えてください。調整時間が要するため、早く具体的な準備をしてスタートしたほうが良く、次回の会議では間に合わなくなる。委員が調整役をすればよいと思う。

(久野委員)

・回覧板を使い集めるのか。(矢野委員)

・同窓会の訪問者で学校に入りたいという声があり、その方たちに参加をしてもらいたい。(榊原教頭)

・学校から依頼するよりも、地域に住んでいる委員がしたほうがよい。役に立てると思う。(佐々木委員)

・学校運営協議会から地域へ発信していくことが大切。次回の会議の前に話し合いを重ねたほうがよい。(川上委員)

・保護者1/3、自治会1/3、学校1/3で集めればよい。(鳥居委員)

・準備会を別日で行いたい。(田村委員)

・学校運営協議会が窓口になって運営の主体になってもらえたら良いと思う。相談は学校が行う。(羽生校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 昨年度の取組からの活動策検討について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき「面接の受け方」講座について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・今年度の面接官は、守秘義務などの関係で昨年度の委員にお願いしたい。面接官の人数により生徒の組み方が変わる。1回で実施出来たらよい。委員からの質問やアドバイスはとても新鮮だった。予定日は、私立1/21(火)、公立2/18(火)

(榊原教頭)

・昨年度は良かったと思う。知っている生徒がいたので変更をした。確認をしないといけない。(袴田委員)

・1回目よりも2回目のほうがきちんとできた。人の印象は5秒で決まるため練習を重ねることが大切。面接官も緊張したが勉強になった。(川上委員)

・知り合いの生徒がいたのに気付かなかった。でも、再発見できた。まとめ作業の時間が足りなかった。(田村委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

14 報 告（学校支援 CD より）

今年度から 2 人体制で活動している。

・ 1 学期の活動

読み聞かせボランティア 3 回

図書ボランティア 2 回（七夕飾り製作など）

・ 職場体験学習 準備の進捗状況

・ 昨年度よりも生徒が 30 名多い。多人数で受け入れていた事業所が、生徒の対応できる人材不足や個人情報の扱いが難しいなどの理由から少人数での希望。新しい事業所を確認中。委員で紹介できる事業所があればお知らせください。（矢野委員）

その他連絡事項等

・ 司会から、次回会議は、令和 6 年 11 月 18 日（月）13 時 30 分から蜷塚中学校会議室で開催する旨の報告があった。（授業参観を 30 分程度予定）

・ 次回議長は鳥居委員が務める。